

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



函館どつく視察:事業の伝承と発展を学ぶ

「函館どつく株式会社」の造船所を無所属会派で訪ねました。「函館どつく」は渋沢栄一が創業にかかわる伝統を持ち、北海道を代表する企業でした。日本の造船業の不振、後退を通じて「函館どつく」も同業他社の傘下に入る事態が生じました。しかし、大半の造船所が整理統合され、廃業を強いられているのが日本の造船業界の現状です。

視察見学した「函館どつく」は、現在主力を置いているのは、ばら積み貨物船(バルクキャリア、バルカー)というタイプの船舶で、中型のサイズで河川を遡った港にも入港できる船底が浅い船種を得意としているとのことでした。船舶の建造ではドックの中で船体を造り、進水後、海上で船体の艤装が行われます。

他方で、自衛艦や海上保安庁の巡視船を修繕する拠点(北海道・東北地域で唯一)となっており、ドックには修繕中の護衛艦の姿を見ることができました。ただし、これらの自衛艦や巡視船などの船舶は特定機密法の対象になっており、それらの船舶を撮影する行為は法の対象になり、絶対にさけるように指示を受けました。写真是一般用貨物船です。



旧函館区公会堂と商工会議所

現在は観光施設となっている「旧函館区公会堂」を会派視察で訪ねました。函館区というのは、函館が古い都市で函館区と呼ばれた時代に元施設が建造されていたためです。この公会堂は自治体の函館市が造ったものではなく、商工会議所が建てたものでした。



元来、この建物は商工会議所が所有していたのですが、函館の大火で焼失したことで有志が再建資金を募ったにも関わらず、なかなか資金の調達がかなわないところ、地元一の豪商がその不足資金の大半を出して、見事に公会堂が再建されたというものでした。会議室や食堂のみならず、立派なホールを持ち、講演やコンサートが開催されていたというものです。また、戦前では皇室の方々の宿泊にも利用されるという格調高い建物でした。行政機関が建設・運営するのでなく、商工会議所という自立した地元財界が地域に貢献する心意気を示していました。経済人が自分の商売と利益追求に専念するのでなく、行政以上に社会への還元も図る精神が今の時代に復活してもらいたいと期待しています。

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう！

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4 期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ



個人HP

メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
夏季休暇期間中の募集終了

インターン体験記: 酒井優子⑧-2

東京ビックサイトで開催された「自治体・公共 Week2024」では、関心を覚えた企業がさまざまありました。その中で特に印象に残ったのは、RAON という韓国企業の生体認証の展示でした。こちらの企業では、生体認証をマイナンバーカードの本人確認に用いることができるのではないかと考え、現在はその売り込みを行っているそうです。



韓国の企業ということで韓国の生体認証と個人情報の関係についても伺いました。現在、韓国でも、日本のマイナンバーカードのようなものがあるそうです。しかし日本とは違い、スマホに登録してあるため、デジタルで管理しています。また、それぞれの機関が個人の情報をバラバラに持っているため、個人情報となる書類が必要となった時、自分でそれぞれの機関に随時申請をする必要があるそうです。そのため韓国では、日本のマイナンバーのように政府が個人情報を一括管理しているわけではないので、個人で自分の情報を扱っている、という感覚が強い、とのことでした。各機関に書類を申請する際、日本と同様マイナンバーカードを用

いるそうですが、その際に生体認証(指紋や顔等)で本人確認を行っているとのことでした。

他国の個人情報の扱いというものを実際に外国人に聞くということは初めてだったため、さまざま驚く点が多かったです。説明をしてくださった方が、TOEIC などの資格を、マイナンバーなどと結びつけできるのではないかと、という話をされていて興味深く感じました。



東京都立大学 2 年生 酒井優子(第 53 期生)

*⑧-1 は次号に掲載予定です。

吉田つとむのコメント

酒井さんには、自治体・公共 Week2024 の見学で特に気になった展示ブースを訪ねました。将来の自分に照らして、問題意識を強めてもらいたいと思います。その意味では、8-1 と 8-2 では視点を変えて見る、あるいは焦点を複数設定してみることを求めました。

吉田つとむのインターン募集情報

この間、大学生の夏季休暇中のインターンシップ生(54 期生)の募集を行っていましたが、新規に 2 名の応募者がありました。現在の 53 期生も一部の研修日程が残っており、夏季休暇中の募集を終えることにしました。新たな応募者は 10 月以降の参加になります。

◎吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、2024 年 5 月末までに 107 名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。